

一人の執事の《人生》と《家族愛》に心震えた!!

感動であふれる
試写会場!!

満足度 **98%**
おススメ度 **93%**

(11.5.12・5 試写会調べ)

アメリカには人種差別など嫌な側面もあるが、
一方でそれを直視するこの映画が生まれる懐の深さもある。

歴代大統領の執事を務めた
一人のアフリカ系アメリカ人の人生を通じて
**アメリカ社会の裏面を
深くえくり出している。**感動の映画だ。

鳥越俊太郎 (ジャーナリスト)

50年前、アメリカに住んだ。
当時私も人種差別を受けた。
その時の経験を思い出して、**心揺さぶられ、涙した。**
差別はまだ根絶されていないが、
大きく改善したことは事実だ。
この映画のヒット自体が、アメリカの進歩の象徴だ。

森永卓郎 (獨協大学教授・経済アナリスト)

映画が終わった時、あまりの感動にしばらく立つことが出来ませんでした。
それ程、**胸にドンとくるものがあつた**のです。
アメリカがかかえてきた人種差別問題の歴史がよく判り、
大変感慨深い最高のクオリティの映画です。

デヴィ・スカルノ (インドネシア 元大統領夫人)

口を閉じひたすら忍従することが、
実はどれほど深く強い「主張」であることが、
人間の尊厳の涙を見た。

安藤優子 (ニュースキャスター)

「目に涙あふれた…」

バラク・オバマ

第44代 アメリカ合衆国大統領

人種差別というテーマの中で、
家族との葛藤を時には激しく時には優しく、
時代の流れが愛と信念で包んでくれる。
最高のクオリティで知るべき
**歴史をエスコートしてくれた
フォレスト・ウィテカーに最敬礼!!**

萬田久子 (女優)

今まで「黒人差別」をテーマにした作品を
いくつも見てきたが、この映画ほど
人間の本质を鋭く深く
そして静かに見つめた作品は珍しい。
それは「差別」のもっと向こうの側にある
人間の「宿命」といも言うべき性を
ホワイトハウスを舞台に浮き彫りにしている。
感動と驚きが凝縮している映画だ。

堀尾正明 (フリーキャスター)

差別と迫害の中で、心強いストーリーと、
ぬくもりがありユーモアと希望を与えてくれる、
アメリカの魂が伝わる感動作。

年齢人種男女問わず、
観れば一生忘れない貴重な作品。

デーブ・スペクター (放送プロデューサー)

オバマはこの映画に涙した。
自分がホワイトハウスの頂点に
入るはるか前、そこへ底辺から入った
執事の涙を見届けたからだ。

越智道雄 (明治大学名誉教授)

歴代大統領を孤独と苦悩に追いやる
歴史転換の大波。
自分の本分を黙々とたはたしていく
執事セシルにも1私人としての孤独と苦悩がある。
ホワイトハウスと家庭を舞台に描かれる
黒人家庭の愛と葛藤の深さに**涙も湧いた。**

志茂田景樹 (作家・読み聞かせたい隊長)

差別の中を生き抜くには白人向けの顔を持ちながら生きるしかなかった黒人老執事。
そんな彼に逆らい、権力に立ち向かう長男。国家の為に志願して、ベトナムへ向かう次男。
最後に老執事が行きついた生き方は? **人生を考えさせる名作**である。

草野仁 (TVキャスター)

(敬称略・順不同)

日本の“執事のプロ”も大絶賛!

セシルのバトラーとしての技術、大統領への接し方、
仕事への誇りと献身、本物のバトラーを超える
バトラーを演じる姿に感動しました。
本作は私達のバイブルです

新井直之 (日本バトラー&コンシェルジュ株式会社 代表取締役社長)

おもてなしの真髄をこの映画に見た。
人のため、家族のため、そして自分の誇りのため。
サービスの世界に生きた男の
大きな愛の物語でした。

野地秩嘉 (ノンフィクション作家「サービスの達人たち」(新潮文庫)著者)

“大統領の執事”に 必要な3つの ルール

1. 部屋の中では
“空気”であれ!



2. 政治に
無関心であれ!



3. 秘密のミッションも
こなす存在であれ!



セシルのモデルとなった
“大統領の執事”の真実がここに!!



『大統領の執事の涙』(原書房刊)

ウィル・ハイグッド著

2月1日発売予定 本体価格1,400円+税